

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案件名：鹿屋市DX推進計画（案）
- 2 意見の募集期間：令和6年2月13日～3月13日（30日間）
- 3 意見提出者：1人
- 4 意見数：1件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	デジタル社会は代理人という概念が無い。例えば、本人が怪我したり、認知症である場合、代理人が必要となる。本人である証明書が必要だが、本人が判断力が低下している場合は代理人が必要である。また、本人が病気ばかりで、何も知らない時、証明書が悪用される恐れがある。ここでは知らないということはいじめる絶対な機会という訳だ。法が善用されるとは限らない。悪用されることがある。カードにこだわると危険だ。その機械まで持ってくればいいだけなのだ。つまりハイテクになればなる程難しくなってくるので、将来QRコード化が大事だと思う。個人情報をQRコード化することだ。ピッと読み込めば、必要な情報が出てくるしくみが大事だと思う。あと、買ったものに年号や時期を記入するが、これをQRコードに印刷できないか考えてみる。必要な時にスキャンすればいい。書類もQRコード化が進めば、書類の枚数も必要な枚数だけプリントすればいい。今度は書類の確保である。どんなにインターネットが進むとしても、書類に書く紙が無ければ書類を発行できない。今後、紙の代用品を探すことになる。紙幣もすぐには無くならない。お金に困っている人は現金生活だからだ。雑草が紙の代用品ならないか？検討してみる。“雑草ビジネス”（仮）、	E	御意見として承り、参考とさせていただきます。

雑草代用紙（仮）”を技術開発することも手だ。これからは“物質が不足する社会”（仮）、“リサイクル社会”（仮）に向けて再利用、技術を発展させたい。またこれからは太陽光エネルギー⇒磁石エネルギー（仮）⇒火力エネルギー（仮）に変換するのも手である。困った二酸化炭素をエネルギーに変えるしくみが大事となる。“二酸化炭素をエネルギーに変換できる社会”（仮）、永遠に増えないで燃えるしくみが大事。吸収しつつ、それをクリーンなエネルギーにする。もちろん無毒化してからエネルギーに変えてもいい。将来“マグネットでエネルギーを生み出すエネルギー政策”（仮）に変換してもよい。つまり、太陽光、風力、水力、火力、風子力をいったんマグネットのような磁石にエネルギーを変えて、動力としてとり出す。それを災害復興などに使用してもいいし、祭典などに利用してもいい。（コンテストやフェスティバルなど）（仮）もっともっと、エネルギーは使いやすくなる社会となる。物質は少なくなくても日本は火山の国。磁鉄が多く出る。それを資源活用して、エネルギーだったり、証明書の紙だったり、紙幣だったり、乗り物だったり、温度管理だったり、（地球温暖化で温度が上昇して気候が格段に暑くなる。洋服が耐水性の洋服に変化する可能性あり、また温度調整服が発展する可能性あり）天候管理（台風は管理できないとされているが、これを予測することは経済やデジタル社会の中では大事）また水力によって機械がこわれることを防ぐことが大事となる。デジタルは水に弱い。デジタルは水に濡れるとこわれてしまうからだ。だからクリーニングする技術も大事となる。悪用されることを想定して対応する。また壊れることを想定して進む。いくらぼうだいであっても対応できるときはQRコードでアクセス出来るようにシステムを整えておく。例えば緊急の場合を除き、QRコードで原子力をアクセスできるようにするとか、信号からQRコード化の時代へ変えてみるものも手の一つといえる。人にやさしいのはあたり前だが、LINEを覚えるのは常識というが、それがQRコードだけで出来たら、LINEがいなくなる時代があり、銀行口座をQRコード化すればいいのだ。紙幣といってもカードみたいにQRコードでチャージすればいいし、電●機応とQRコードだけで出来てしまう。これからは見ればスキャン（人間が見るということ）つまり人間の目の情報をQRコード化すれば、認知症の人でも対応できると思う。逆に悪用されないように注意しないとイケない。日は昇ればいつかは沈む、また昇る。

（意見は原文を記載。※読み取れない字は「●」で標記しています。）